

RFL 関西実行委員会 2025 年 1 月度定例会 議事録

日 時：2025 年 1 月 13 日（日）13：00～17：45

場 所：シンコースポーツセンター（芦屋市立青少年センター） 第一研修室

出席者：郷州（以上 1 名 ZOOM 参加）、川崎、着能、城村、須天、高岡

進 行：須天 ・ 記 録：須天、高岡

～テーマ「RFLJ2025 芦屋」に向けて！～

1. 前回以降の経緯、報告、相談

(1) 議事録参照

- ・ 前回の議事録のふりかえり
- ・ 他の RFL 実行委員会の運営の様子
→ JCS 郷州より RFL 横浜、RFL 埼玉の実行委員会に参加しての情報。この時期は開催日程の検討や、スケジュール決め、JCS への報告書などを議論が行われていた。

(2) 関係各所との協議、打ち合わせ結果など

- ・ ユーハイムのスポーツ助成金は 1 月末締切りで、申請には 2025 年の予算計画の提出が必要。

(3) 関連イベント活動など

- ・ 前回実行委員会以降、とくに報告事項はなし。

(4) 報告書の作成について（対がん協会、ほか）

- ・ 協賛協力先へ活動報告書を持参し、寄付額等の収支報告を行うことをあわせて訪問を予定している。
- ・ 対がん協会へは 2024 年 12 月 2 日に寄付金額 50 万円振込し、領収書を受領済み。
- ・ 2024 年度、コロナ以降リアル開催の会場が増えたが完全に以前の状態には戻っていない。blank があり以前のようにできないと感じている実行委員会が多いが、協会としては徐々に戻っていけばよい、オンライン開催など開催方法が多様化する中、完全に以前の形に戻す必要はないと思っている。
- ・ 協会の寄付の使い道の発信、発信手段について、Facebook、インスタは以前から行っているが、X での投稿は反応がよいと結果がでている。他に協会報や対がん協会公式 HP、活動報告書にも掲載している。またプロジェクト未来など、RFL 活動が雑誌の記事も掲載される予定。
- ・ 協会の収支報告はサミット&キックオフで報告予定。
- ・ RFLJ2024 芦屋の活動報告書（案）の修正依頼、検討事項
 - ①裏面にぎやかし OB 有志 → 壮青年部に訂正
 - ②兵庫県阪神南県民センターの助成金を受けたことの必須条件である「この事業は兵庫県阪神南県民センター『阪神南ふるさとづくり応援事業』による、、、」文面を追加
 - ③事務局用の電話番号を掲載（契約を継続）するのかについて、月額約 1,000 円で契約している RFL 芦屋専用携帯を普段電源はオフで転送設定（城村携帯へ）にしている。RFL 芦屋専用携帯を通常電源を切っていることにより着電件数は把握できない。そのためその電話が活用されている実績は不明。電話の問い合わせ自体が月に 2 件ほどである。しかしながら役所関連で連絡が専用携帯にある可能性がある。HP 問い合わせフォームなどで代用ができ解約してもいいのでは、という意見に対して、高齢者の中にはパソコンが使えない方がいて電話の方が都合がよいこともあるという意見が出された。
→ 今年 9 月開催までごろを目安に、専用携帯の電源を入れて運用、着電件数のデータを取りその結果で決める。また 1,000 円より安い手段があれば変更することを検討する。
 - ④裏面の実施プログラムの内容に、RFL 開催の条件である「開会式、閉会式」を追加することとした。
- ・ 活動報告書の DM 発送は運賃、作業時間と来場者への影響など費用対効果を考え行わなかった昨年と同様に行わない。一方、有効性が確認されている掲示板への掲出と、募金箱、協賛先への持参を行う。
- ・ HP へと誘導する各 SNS の発信を継続、より強化して行う。
- ・ 活動報告書は A4 両面で作成予定だが、募金箱設置先、協力先に持参した時に店内などに掲示していただくのに両面は使いにくい。掲示してもらいやすい A3 片面のみに印刷したものを準備する。A3 片面印刷バージョンは掲示板にも活用する。その一方で、リードあしやの季刊誌に同梱してもらう物は、A4 両面印刷とする。A4 両面印刷については芦屋市内のボランティア団体、福祉関係に配布されるリード芦屋季刊誌封入用に 750 部、芦屋市内の様々な活動団体、協力先、役所関係などの配布用をあわせて合計 1,000 枚、A3 片面印刷のものは 500 枚で作成予定とする。
- ・ 掲示板ジャック（活動報告書、開催告知）のスケジュールを桜まつりのスケジュールから逆算して検討、桜まつりのタイミングで開催告知チラシ（別途作成）を、その 2 週間前に掲示できるように報告書を作成する。

- ・MLで連絡した活動報告書（案）修正依頼は1月16日（木）を締切とし、リードあしや同梱用となるA4サイズ作成を優先する。

2. 新年度の計画（参加者をより多く募るために）

- ①イベントのイメージ（主体ごとにA)催し B)会場の出来 C)イベントとして を掛け合わせてみてイベントイメージ、方向性を考える）

- ・サバイバー
- ・ケアギバー
- ・支援者
- ・地域の住民（予備軍）

×

A)催し

開会式、閉会式、リレー・ウォーク、ルミナリエ、セレモニー
サバイバーフラッグ&ケアギバーフラッグ、交流啓発企画
（キャンドルラン、ヘアドネーション、にぎやかし）

B)会場の出来（配置、構成）

C)イベントとして

がん検診啓発企画、コラボ企画（満足度、感動）

- ・必ずしも万人受けする必要はなく、それぞれの立場を考えつつも、楽しい要素、何が行われているのかをアピールする案内、広報活動をしてみたい。昨年ご協力いただいた清風高校の先生と生徒さんがとても楽しんでボランティア協力してくれたことなどを紹介するなど。
- ・リレー・ウォークのテーマを決めて（例えばコスプレなど）時間を決めて参加を促す。このプログラムの参加費を預かり、参加品など用意するなど企画も検討してもよい。チームでユニフォームを着ての参加など。ただ、サバイバーさんケアギバーさんと横並びで歩くことは忘れてはいけない。その他には「ジメさんや、くまさんといっしょに歩こう！」の時間を設けるなどの企画。他に一緒に歩きたくなる方を事前に紹介してブランディングしていく。
- ・芦屋市長に、芦屋市のがんに対する取り組みをステージで話していただく、スケジュール的に可能であれば、市長といっしょに歩くなどの企画も検討してみる。早い段階から市長に面会を行い、打診をしてみる。
- ・昨年、路上駐車に関するクレームがあった。路上駐車の注意や道路横断の注意をあらためて促す。
- ・長年継続してきて近隣の方は、このイベントをどう思っているのか？「がんのアレでしょ？」という声もあるが、まだ深く根付いているまでには至っていない。地域の方に訴求する方法をあらためて検討する。

②予算目標の確認

- ・昨年ご協力いただいた物販チームには2月ごろ合せを行う予定とし、方向性を決めていく。
- ・募金箱、ルミナリエの予算との差異について
募金箱の回収率が低下している。設置場所へのお礼参り（報告書持参）を手分けして行っていく。
ルミナリエバックは昨年有償670枚であった。昨年より、50～100枚増やす為には、例えば釣り大会や市役所のブースを借りて、チャリティーブースを設け、メッセージを預かるなど企画を検討していく。
病院や、協賛先であるJCRファーマーさんの社員の方に「協力の1つのカタチ」として案内してみる。
青少年センター内でのブースも提案してみる。
- ・キャンドルランでは、昨年先行募集を行い、一定の効果があつたと分析している。過去参加者へのメールでの案内についても検討するが、以前DMはお断りしたい、との申し出があつたことから「今後連絡はもらえない場合は、、、」との案内を併記するなど、慎重に検討を進める。

③知っていただく、興味をもつていただくためにやるべきこと

- ・動画での広報活動を増やす。より多くのスタッフの参加協力をお願いしたい。相互の連携をたかめたい。

④そのための役割分担、体制

- ・実行委員長：城村
- ・副実行委員長：西口、松浦、熊谷（確認する）、櫻井、須天、高岡
- ・事務局長：着能
- ・広報：須天、サポートに高岡（基本的には全員体制、instagramはサポートに川崎）
- ・会計責任者：金山（確認する） 会計補助：川崎、サポートに高岡
- ・会計監査：大隅

⑤定例会や実行委員会のすすめ方、雰囲気づくり

- ・バザーをしてパネルで案内、寄付金を募ることの提案あり。フリマ、芦屋で行っているバザーの一画でルミナリエバックの作成を行うなど、知っていただく工夫を行う。まずは芦屋周辺で行っているフリマやバザーの企画を調べる。

3. その他

(1) サミット、キックオフについて

- ・ML から自推、他薦を行ったが希望者なし。締め切りは明日 14 日まで、以降も申し込み分は宿泊費、交通費は自己負担となる。実行委員長から初めての方に参加していただきたいとのことだったが、その意向で実行委員会参加者の予定を確認、城村は自費で同タイミングで東京に訪問することを確認し、須天、高岡の参加予定で申し込むこととなった。

(2) 倉庫、備品管理について

- ・現在鈴蘭台倉庫は年間約 12 万円となる。雨漏り問題や利便性を考えて、新たな場所の検討をしていく。
- ・場所は灘区から～武庫川までの間で、広さは 6 畳未満の場所をスタッフみんなで探していく。

(3) 年度計画について優先して取り組むこと(再確認)

- ・年間工程表の作成、1 月実行委員会議事録での確認、カレンダーによる活動スケジュールの作成、ウォークのテーマや企画の検討、芦屋市長への協力挨拶の訪問。
- ・ホンダモビリティ近畿、JCR ファーマーへの訪問

(4) 当面の予定

- ・次回定例会 2 月 2 日(日)
- ・掲示板ジャックスケジュール 3 月 18 日(火)設置 ➡ 3 月 31 日(月)撤収と張替え ➡ 4 月 13 日(日)撤収
- ・芦屋ファンラン開催時期に合わせて横断幕の設置
- ・4 月の定例会は第 2 日曜日の 13 日(日)とする。
- ・対がん協会のトレーニングは、参加者の多い実行委員会での実施を決める為、ML アナウンスで確認する
- ・9 月 18、19 日に神戸ポートピアホテルで対がん協会主催の講演会がある。
- ・活動報告書の修正依頼は 1 月 16 日木曜日締め切とする。

以上